



(写真) Shutterstock “暫定政権 閣僚らを交代、国防相・国軍重要役職者を一斉に交代”

2026年3月18日(水曜)

政治

- 「[暫定政権 閣僚・大統領護衛トップら一斉交代](#)  
～国防相・電気エネルギー相、交通相も交代～」
- 「[マドゥロ大統領 資産凍結で弁護費用支出不可](#)」
- 「[WBC 優勝で3月18日は緊急休日に](#)」

経済

- 「[米国 制裁ライセンス No.52 発行](#)  
～米国企業にベネズエラ原油取引を広く開放～」
- 「[Ecopetrol ベネズエラ近海にガス田を発見](#)」
- 「[ベネズエラ債券 デフォルト下でも高騰続く](#)」
- 「[石油化学業界 石油化学開発法の改定を提案](#)」

2026年3月19日(木曜)

政治

- 「[米国 ベネズエラの渡航警戒レベルを引き下げ](#)  
～米議員団訪ベネ 大統領、議長らと面談～」
- 「[国防相交代 新体制の重要役職を発表](#)」

経済

- 「[Maha Capital PetroUrdaneta 株式24%取得](#)」
- 「[OFAC CITGO 保護措置を5月5日まで延長](#)」
- 「[3月2週 米向け原油輸出日量40万バレル超](#)」
- 「[製造業団体と商工業相 共同の作業部会を設置](#)」

社会

- 「[WBC 優勝の報酬総額は675万ドル](#)」

2026年3月18日（水曜）

## 政治

「暫定政権 閣僚・大統領護衛トップら一斉交代  
～国防相・電気エネルギー相、交通相も交代～」

3月18日 デルシー・ロドリゲス暫定大統領は、閣僚および大統領護衛長・軍内を監視する警察組織 DGCIM のトップらを一斉に交代させた。

以下、交代が発表された役職と新たなトップを記載する。

1. 国防相：Gustavo González López 氏
2. 住宅住居相：Jorge Márquez Monsalve 氏
3. 労働相：Carlos Alexis Castillo 氏
4. 交通相：Jacqueline Faría 氏
5. 大学教育相：Ana María Sanjuán 氏
6. 文化相：Raúl Cazal 氏
7. 電気エネルギー相：Rolando Alcalá 氏
8. 大統領府護衛長：Henry Navas Rumbos 氏
9. 軍事防諜総長：Germán Gómez Lárez 氏
10. 社会開発プログラム「Viva Venezuela, Mi patria Querida」代表：Tarek William Saab 氏

今回の閣僚交代で特に重要なのは、国防省、大統領府護衛省、DGCIM など軍・治安関連のトップ交代と電気エネルギー相の交代だろう。

特にこれまで国防相を務めてきたパドリーノ・ロペス氏は2015年からマドゥロ政権下で国防相を11年間務めてきた。閣僚が頻繁に交代するベネズエラにおいて、11年間同じ役職を続けるというのは極めてまれなケースである。

なお、最も大臣職の在任期間が長いのはリカルド・メレンテス企画相で13年。2013年のマドゥロ政権発足当初から変わっていない。

これまで、パドリーノ・ロペス氏はマドゥロ政権を維持する守護者として国防相を務めてきたが、同氏の交代はベネズエラ軍体制の大きな転換と言えるだろう。

ただし、後任のグスタボ・ゴンサレス・ロペス氏もマドゥロ政権下で重要な役職に就いてきた人物である（下写真の人物）。



(写真) @delcyrodriguezv

具体的には、2014年～18年、19年～24年に公安組織「SEBIN」トップとして、抗議行動抑圧の前線で指揮を執っていた。2017年4月～7月にかけて起きた抗議行動では軍・警察含めて125名超が死亡したとされ、人権侵害を理由にゴンサレス・ロペス氏は米国の個人制裁対象に指定されている。

また、タレク・ウィリアム・サアブ検事総長が、社会開発プログラムの1つ「Viva Venezuela, Mi patria Querida」の代表に就任したことも特筆に値する。

2017年から検事総長として国内の治安維持に従事してきたが、今回の任命を踏まえると、同氏は政治の第一線から離れることになりそうだ。

なお、後述するが、暫定政権は翌3月19日に国防省内の重要役職の一斉交代を発表した。

この状況を受けて、マドゥロ大統領夫妻の担当弁護士は、裁判所に対して、「両名が弁護を受ける資金を有していないこと」、「裁判所は弁護を受ける権利を尊重する義務があること」を書面で求めたが、現時点で回答は得られていない。

なお、裁判所は「被告（マドゥロ大統領夫妻）が国選弁護人を受け入れるべきだ」とする提案をしている。

この提案について、担当弁護士は、「自らの弁護人を選択する権利の侵害を解消するものではない」としてこれを拒否。手続きが「憲法上の欠陥を有する」ものであるとして起訴の棄却を裁判所に求め、あるいは少なくとも本件を検討するための審理を開くよう求めている。

なお、マドゥロ大統領夫妻の裁判は3月26日を予定している。

### 「マドゥロ大統領 資産凍結で弁護費用支出不可」

2026年1月3日 マドゥロ大統領夫妻は米国軍に拘束され、麻薬取引への関与や武器所持を理由に米国で起訴されている。

この訴訟費用について、ロドリゲス暫定政権は国庫からの支払いを求めたが、米国政府はマドゥロ政権をベネズエラの政府と認識していないため、ベネズエラ政府の国庫からの弁護費用の支出が禁止されている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1337](#)」）。

なお、マドゥロ大統領夫妻は（彼らの血縁者含めて）OFACの制裁により個人資産が凍結されており、彼らの口座から支払いを行うことは出来ない。

つまり、実質的にマドゥロ大統領夫妻は自身らの弁護費用を支払うことが出来ない状態になっている。

### 「WBC 優勝で3月18日は緊急休日に」

3月17日（日本時間18日） 「ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）」の決勝戦で、ベネズエラ代表が米国代表を破り優勝を果たした（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1345](#)」）。

この結果を受け、デルシー・ロドリゲス暫定大統領はSNSにて「3月18日を休日にする」と発表した。なお、活動を止めることが出来ない仕事は例外となっている。



Delcy Rodríguez  
@delcyrodriguezv



Show translation

He decidido decretar mañana como Día de Júbilo Nacional, no laborable, con excepción de los trabajadores de servicios esenciales, para que nuestra juventud salga a las plazas, a los parques y a las canchas a festejar.

¡Mañana todos al gran concierto Venezuela triunfa unida!

12:36 PM · Mar 18, 2026 · 2.1M Views

また、ロドリゲス暫定大統領は、WBC 優勝を記念して 3月17日を「全国野球の日」とすると発表。

カラカス西部の公園「Plaza la Juventud」にベネズエラ野球選手らを称える「野球スター街道（Paseo de las Estrellas）」を作ることを決めた。

なお、ベネズエラ代表が米国代表を破り WBC に優勝したことを受けて、トランプ大統領は SNS にて「Statehood（州）」と投稿。

この試合に先立ち、トランプ大統領はベネズエラを 51 番目の州にするとのコメントを投稿しており、改めてベネズエラ合併を示唆した。

## 経 済

### 「米国 制裁ライセンス No.52 発行

#### ～米国企業にベネズエラ原油取引を広く開放～」

3月18日 米国の「外国資産管理局（OFAC）」は、制裁ライセンス No.52 を発行。PDVSA（および PDVSA が 50%以上の株式を所有する会社）との取引制限を大幅に緩和した。

今回の許可範囲は、2025年1月29日以前から存在していた全ての米国企業に適用される。

許可される内容は、以下に関連する PDVSA との取引。

- ・ベネズエラ産原油またはベネズエラ産石油製品の積み出し、輸出、再輸出、販売、再販売、供給、保管、販売促進、購入、引渡し、または輸送

- ・石油、ガス、または石油化学製品分野における探査、開発、または生産活動に必要な希釈剤、物品、サービスおよび技術のベネズエラへの提供

- ・ベネズエラの石油、ガス、または石油製品分野における探査、開発、または生産活動に関する新規投資契約の締結

- ・上記活動に関連するベネズエラにおける新たな合併事業（JV）またはその他の法人の設立

- ・上記の活動に通常付随し、かつ必要なすべての取引（これには、商業、法務、技術、安全、環境に関するデューデリジェンスおよび評価の実施が含まれる）

同ライセンスを適用するための要件は、以下の通り。

- ・契約は米国法または米国内法域を準拠法とすること
- ・紛争解決は米国内で行うこと
- ・外国政府預託基金または米財務省指定口座へ支払うこと
- ・取引内容について米国政府へ報告すること

他、取引におけるロシア・イラン・北朝鮮・キューバ関係者の関与、あるいは中国企業が支配する企業の関与は禁止されるなど一定の禁止事項も存在する。

これまでベネズエラ原油は、トランプ政権から許可を得ていた企業（例えば、Chevron、Vitol、Trafigura など）のみが取引可能だった。

しかし、制裁ライセンス No.52 が発行されたことで、上記の要件さえ満たせば、他の米国企業（例えば、CITGO、Phillips66 など）も PDVSA から原油を購入することが可能になると理解できる。

**「Ecopetrol ベネズエラ近海にガス田を発見」**

コロンビアの政府系石油会社「Ecopetrol」の Ricardo Roa 社長は、ベネズエラ近海の沖合でガス田を発見したと発表した。

新たに発見されたガス田は「コポアスー 1 (Copoazú-1)」と命名された。

Roa 社長は「コロンビアにとって3回目の重要な発見」と説明している。

この深海ガス田は、Ecopetrol とブラジルの Petrobras による探査により、水深約 1000メートルの地点（北部ラ・グアヒーラ県）で発見されたが、現時点ではどの程度の生産量に達するかは明らかになっていない。

**「ベネズエラ債券 デフォルト下でも高騰継続」**

OFAC が制裁ライセンス No.52 を発行したことを受けて、ベネズエラ債は再び上昇した。

3月18日時点で、31年満期のベネズエラ債の取引価格は50.25セント/ドル（前日から1.75セント増）、27年満期の PDVSA 社債は35.35セント/ドル（前日から1.85セント増）。

米国投資会社「Aegon Asset Management」の Jeff Grills 氏（債券部長）は、「投資家にとってベネズエラの先行きを楽観視する新たな材料が加わった」とコメントしている。

ベネズエラ債は、中東紛争による原油価格の高騰を受けて上昇。更に今回の制裁ライセンス発行で更に上昇した。

ベネズエラは現在もデフォルト状態が続いている。

また、OFAC の制裁によりベネズエラ政府、PDVSA は新たな債券を発行することが出来ない。

債務再編は過去の債券を新たな債券に乗り換えるのが一般的。従って、債券発行を禁止する制裁は債務再編の障害となる。

それでもベネズエラ債への関心は高まっており、2026年1月のマドゥロ大統領拘束を機に上昇を続けている。

**「石油化学業界 石油化学開発法の改定を提案」**

「ベネズエラ石油化学連合会 (Asoquim)」の Reinaldo Gabaldón 代表は、ベネズエラの経済成長を促進するためには、国内で産出された原油を国内で精製する石油化学セクターの成長が必要と指摘。

石油化学セクターの成長のために「石油化学活動開発法 (Lodap)」を改定するよう提案した。

現在の法制度では、石油化学業界は国営企業が主体だが、今後は民間資本を促進し、国家はパートナー的な位置づけに転換するべきと指摘。同法の改正によって外国資本の流入が促進されるとの見通しを示した。

また、Gabaldón 代表は、ベネズエラの化学・石油化学セクター回復のために2点が必要と指摘。

1つ目は、石油化学産業向け原料供給の拡大。

具体的には天然ガス、液化天然ガスの生産量が低迷しており、原料の供給不足により El Tablazo や Morón 石油化学コンビナートが正常に稼働していないと説明。

今後は、炭化水素法の改定や外国投資の拡大を受けて、原油およびガス生産が促進され、石油化学産業への原料供給が回復することに期待感を示した。

2つ目は、購買力回復による石油化学製品の需要増加。

石油産業が経済のけん引役となり、消費者の購買力が回復すれば、家庭用衛生製品や潤滑油などの消費が拡大し、結果として石油化学セクターの成長を促進するとの見解を示した。

2026年3月19日（木曜）

## 政治

「米国 ベネズエラの渡航警戒レベルを引き下げ  
～米議員団訪ベネ 大統領、議長らと面談～」

3月19日 トランプ政権は、一部地域を除きベネズエラの渡航警戒レベルを「カテゴリー3（渡航の再検討を推奨）」へ引き下げた。

米国は、マドゥロ政権との外交関係が断絶した2019年1月にベネズエラ全土の渡航警戒レベルを「カテゴリー4（渡航禁止）」としていたが、7年越しの警戒レベルの引き下げとなる（「[ベネズエラ・トゥデイ No.246](#)」）。

ただし、米国国務省は、渡航警戒レベル引き下げ発表文にて

「ベネズエラの様子は改善しているが、一部地域は引き続き危険な状態を維持している」と説明しており、タチラ州、アマズナス州、アプレ州、アラグア州、グアリコ州、ボリバル州内陸は、依然として「カテゴリー4」を維持している。

他、マイケティア国際空港から非正規のタクシーを利用すること、空港周辺のATMを利用するリスク、夜間移動のリスクについて強調している。

なお、日本は2025年12月にベネズエラ全土を「レベル3（渡航中止勧告）」に引き上げ、このレベルは現在も変更されていない（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1304](#)」）。とは言え、昨今の流れを踏まえると警戒レベルの引き下げは時間の問題と言えそうだ。

また、3月18日に米国上院の外交委員会の議員団がベネズエラを訪問。ホルヘ・ロドリゲス国会議長および恩赦法検討委員会のメンバーらと面談を行った。

翌19日に、議員団はミラ・フローレスにてデルシー・ロドリゲス暫定大統領と面談。同面談には、Félix Plasencia 在米ベネズエラ代表大使と Oliver Blanco 欧米担当次官も同席した。

同面談後、暫定政権は声明で、

「米国代表団の訪問は、技術的かつ政治的なものであり、両国間で合意したロードマップを反映したものと説明。「歴史的な認識相違の解消と、世界的なエネルギー問題の対応に向けた協議を優先する」とした。



（写真）大統領府

## 「国防相交代 新体制の重要役職を発表」

暫定政権は、3月18日にグスタボ・ゴンサレス・ロペス氏を国防相に任命した。

翌19日、ゴンサレス・ロペス国防相指揮下での新たな軍幹部メンバーが発表された。

- ・ CoeFANB 副司令官：Jesus Rafael Villamizar Gomez
- ・ 国軍監察総監：Dilio Guillermo Rodriguez Diaz
- ・ 陸軍総司令官：Ruben Dario Belzares Escobar
- ・ 海軍総督：Jorge Alejandro Aguero Montes
- ・ 空軍総司令官：Royman Antonio Henandez Briceno
- ・ 国家防衛隊総司令官：Juan Sulbaran Quintero
- ・ 民兵総司令官：Nayade Solovenly Belmontes

**Delcy Rodriguez** @delcyrodriguezv · 3h  
 Anuncio la designación de los integrantes del Alto Mando Militar renovado que acompañarán al Ministro para la Defensa, GJ. Gustavo González López, con el firme compromiso y lealtad patriota de garantizar la soberanía, paz, estabilidad e integridad territorial de la República.



103 196 300 38K

**Delcy Rodriguez** @delcyrodriguezv · 3h  
 Vamos con honor a trabajar incansablemente en la materialización de una Venezuela soberana, justa, solidaria; construyendo un país de justicia social y felicidad absoluta para todos los venezolan@s.



(写真) @delcyrodriguezv

交代が発表された軍部重要役職者は以下の通り。

- ・ 国家戦略作戦総司令部（CoeFANB）の総司令官：  
Rafael David Prieto Martinez

## 経 済

### 「Maha Capital PetroUrdaneta 株式24%取得」

米国メディア「Bloomberg」は、スウェーデンのエネルギー会社「Maha Capital AB」（ブラジル人が経営陣）が、スリア州にある合弁会社「PetroUrdaneta」の株式24%を購入したと報じた。

PetroUrdaneta の現在の産油量は日量2000バレルと推定されているが、今後は迅速に日量1.5万バレルまで増加する可能性があるという。

Maha Capital AB は声明にて、「米国財務省が米国企業に対し、PDVSA との取引を認めるライセンスを発行したことを受け、購入オプションの行使を承認した」と説明。また、同社は PetroUrdaneta 事業における自社の持分を米国子会社に移転する方針を明らかにした。

### 「OFAC CITGO 保護措置を5月5日まで延長」

3月19日 米国の「外国資産管理局（OFAC）」は、米国にある PDVSA 孫会社 CITGO を保護する趣旨の制裁ライセンス No.5 を更新した。

この制裁ライセンスは、PDVSA 20社債（以下、PDVSA 20）に関する取引を制限するもの。

PDVSA 20は、CITGOの株式50.1%が担保に設定されている。PDVSA 20は2019年にデフォルトしており、本来であればPDVSA 20債権者はCITGOの株式50.1%を売却することで投資資金を回収することが出来る。

しかし、制裁ライセンスNo.5が、債権者による株式売却を阻止しており、同ライセンスは更新を続けて現在に至っている。

## 「製造業団体と商工業相 共同の作業部会を設置」

Luis Antonio Villegas 商工業相は、「ベネズエラ製造業連合会 (Conindustria)」の Tito López 代表と会合。国内生産を拡大させるにあたり障害となっている問題について意見交換を行った。

同日の会合では、特に行政手続きの簡素化に焦点が当てられたようだ。

また、企業の資金繰りに懸念を与えている外貨アクセスの問題、輸入製品との競争における公平な条件の確保についても議論された。加えて、企業のコスト構造に影響を及ぼす税負担の見直しも要請された。

協議の結果、双方は問題の特定と解決について議論するための作業部会（ワーキンググループ）を組織することで合意。同部会を通じて、行動計画を作成し、実行することで合意した。

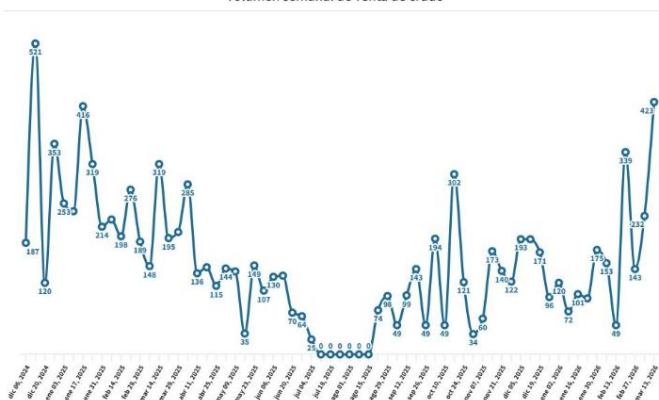
## 「3月2週 米向け原油輸出日量40万バレル超」

米国の「エネルギー情報局 (IEA)」によると、3月第2週（3月9日～13日）のベネズエラの米国向け原油輸出量は日量42.3万バレルだった。

この輸出量は2024年12月（日量52.1万バレル）以来の水準となる。

なお、3月第1週の輸出量は日量23.2万バレルであり、先週から82%増えたことになる。

Exportación de crudo venezolano a Estados Unidos  
Volumen semanal de venta de crudo



Fuente: EIA • Cifras en miles de barriles diarios

(写真) IEA

## 社 会

### 「WBC 優勝の報酬総額は675万ドル」

ベネズエラ代表は2026年のWBCで初優勝を果たし、総額約675万ドルの賞金を獲得した。

なお、優勝による直接の報酬額は約250万ドルで、準決勝・決勝進出など各ラウンドでの報酬を含めて総額が675万ドルになるという。

大会の報酬構造に基づき、賞金の約50%が選手に分配されるため、代表は総額337.5万ドルを受け取る。仮に登録選手30人で均等に分配した場合、1人当たりの受取額は約11.3万ドルになる。

以上